

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東区長賞				所管	文化産業観光部 文化振興課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	60	計画事業名	台東区長賞作品などの公開			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (2) 新たな文化の創造と発信 [施 策] ① 新たな文化の創造				[事業開始]	昭和 5 6 年度				
	根拠法令等	その他		[法令等名]	東京藝術大学美術学部卒業作品展台東区長賞設定に関する覚書						
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ広く一般、東京藝術大学大学生・大学院生および卒業生 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	若手芸術家の育成支援を行うことにより、区民文化の創造や区民が芸術に触れる機会の提供を図る。									
	事業内容 [29年度]	東京藝術大学卒業・修了制作品への台東区長賞(絵画)、台東区長奨励賞(造形)授与を実施する。台東区長賞作品などの展示を行う台東アートギャラリー、台東区長奨励賞の展示を行う上野中央通地下歩道内展示ブース、インターネット上にて作品を公開する「ヴァーチャル美術館」の管理・運営を行う。また、区立施設にて展示環境を整備し、作品展示の機会を増やす等区民が芸術に触れる機会の提供を図る。									
	委託の有無	一部委託		委託内容	作品倉庫保管委託 作品展示委託等						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	区長賞・奨励賞・壁画模写作品数		累計	204	172	180	188	188	100.0%	
		ヴァーチャル美術館公開作品数		点	224	190	200	208	206	101.0%	
	成果指標	ヴァーチャル美術館年間アクセス件数		件	41,000	41,291	40,238	40,957	11,500	356.1%	
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				9,845		9,011		9,073	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				4,812		5,350		4,609	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				7,246		6,411		6,474	
		総経費				2,600		2,600		2,600	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				13		9		4			
一般財源(区負担額)				14,645		14,352		13,679			
前回評価から29年度に改善した事項	谷中小学校に台東区長賞受賞作品を展示した他、「ヴァーチャル美術館」をより活用しやすくするため展示予定の追加等を行った。また、東京藝術大学との連携を一層深め、音楽分野の若手芸術家の支援、区民の芸術に触れる機会の充実を図るため、台東区長賞に音楽分野を創設した。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	若手芸術家の育成支援は、営利目的の民間企業等では取組みにくい分野であるため、区の文化振興のためにも行政が継続的に支援する必要がある。また、台東アートギャラリー、上野中央通地下歩道内展示ブースでの作品展示に対して、好意的な意見を頂戴しており、区民等の関心は高い。								
	効率性	3	区の貴重な財産である所蔵作品の適切な管理(保存)と公開(活用)のため、温湿度管理がなされた倉庫への保管や専門の知識を持った業者への作品輸送・展示、新規展示場所の設置委託など効率的な運営に努めている。								
	手段の適切性	3	作品の保管や輸送・展示など専門知識・ノウハウを持った業者に委託し、区の貴重な財産を損ねることがないように所蔵作品の公開と適切な管理運営を行っている。また、区長賞・奨励賞授与の実施やアートギャラリーをはじめとする作品展示などは、東京藝術大学の協力・助言を得て適切に行っている。								
目的達成度	4	「ヴァーチャル美術館」の年間アクセス件数については高水準で推移している。より閲覧者が利用しやすくなるようサイト全体の見直しを図り、トップページのレイアウト変更やアートギャラリー、区施設に展示する作品の展示予定表の掲載を行った。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
区の芸術文化の振興のためにも、継続的に賞を授与し若手芸術家の育成支援を行うことは重要である。継続して作品を所蔵していくことで作品自体の価値が高まり、区民をはじめ広く一般に対して、芸術に触れる機会の提供を充実させることができる。また、音楽分野における区長賞の創設を行ったことにより幅広い文化・芸術の提供を図ることができるようになった。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			